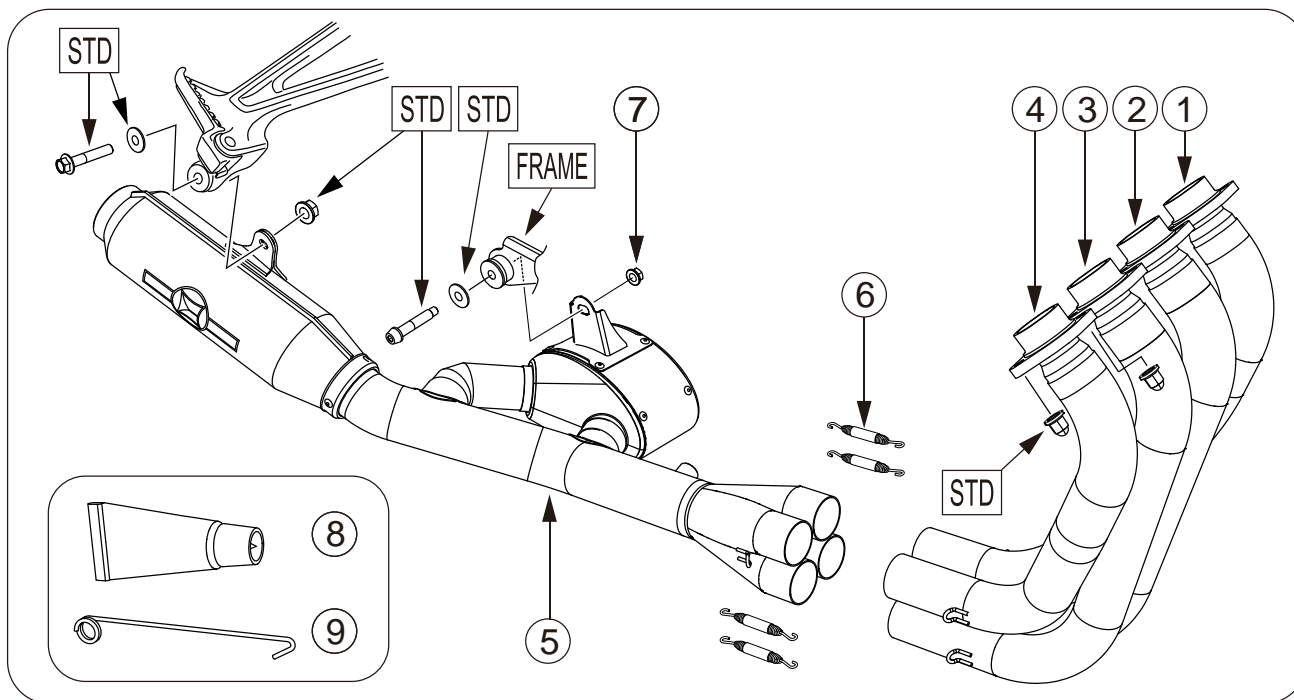


MORIWAKI MONSTER  
Kawasaki '18- Z900RS/CAFE

Parts No. 01810-D3250-00



※図中の「STD」とは車両純正部品です。取付けに再使用します。

【構成部品】

No.	部品番号	部品名	入数	単価 (税別)	No.	部品番号	部品名	入数	単価 (税別)
1	18110-D3250-00	フロントパイプ#1	1	¥ 32,000	7	984010-10000	フランジナット10	1	¥ 100
2	18120-D3250-00	フロントパイプ#2	1	¥ 32,000	8	860-806-0600	液体ガスケット ME30	1	¥ 600
3	18130-D3250-00	フロントパイプ#3	1	¥ 32,000	9	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	¥ 200
4	18140-D3250-00	フロントパイプ#4	1	¥ 32,000	9	取扱説明書		1	
5	18210-D3250-00	テールパイプ	1	¥ 172,000	10	自動車排気ガス試験結果証明書		1	
6	0A02-08709-KK11	スプリング	4	¥ 690					

【製品仕様】

製品名	MORIWAKI MONSTER	エンジン調整の要否	調整、改造不要
適合機種	Kawasaki '18- Z900RS/CAFE	オイル交換	本製品の脱着不要
形式	2BL-ZR900C	フィルター交換	本製品の脱着不要
排気音量	近接：94dB / 加速：82dB	JMCA 認定番号	JMCA2118007089
製品重量	5.5kg (STD 11.9Kg)	その他	オプションセンタースタンド使用不可

【必要工具】

- 六角棒レンチ 6mm , ○フレアナットソケットレンチ又はスパナ 22mm
- スパナ、レンチ、ソケットレンチ 10, 12mm いずれか1本 14mm 2本
- ユニバーサルジョイント, ○トルクレンチ
- 脱脂洗剤、ウエス、グローブ、モリワキレーシング整備マット等

## 注意

- ① 本説明書は、基本的な車両整備の知識や技能のある方を対象に解説しております。また車両のサービスマニュアル書も参照の上、作業が必要となります。
- ② 作業する際には、エンジンを十分冷ましてから行なって下さい。
- ③ エンジン始動による騒音や発熱、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、マナーと配慮を心掛けて下さい。
- ④ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けは十分確認して下さい。
- ⑤ 走行中振動によりボルト類が緩む事がありますので、定期的に点検と整備を行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。改造による取付け不良や破損等の返品はお受け出来ませんのでご了承下さい。
- ⑦ 転倒歴のある車両では、取付ける事が出来ない場合があります。確実に取付ける事が出来ない場合には、本製品を使用しないで下さい。

### 【純正部品の取り外し】

車両のサービスマニュアルの手順に沿って、純正マフラーとO<sub>2</sub>センサーを取り外して下さい。

※部品構成表の「STD」の印がある部品は本製品取り付けに再使用します。

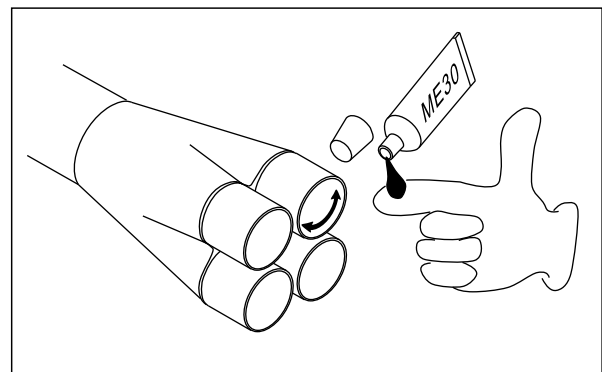
※純正マフラー、サイレンサーは重量があるので取り外した際の落下などにはご注意ください。

### 【取付け準備】

- ① テールパイプのパイプの差し込み口の内側に、液体ガスケットを薄く塗ります。

- ② エンジン出口のマフラーガスケットを確認し、損傷が激しい場合は、新品への交換を推奨します。本製品には付属しておりませんので、別途ご準備ください。

(純正部品：「ガスケット、エキゾースト パイプ ホルダ / 11060-1103」)



### 【製品の取り付け】

- ① フロントパイプを仮止めします。
- ② テールパイプを、フロントパイプに差し込み、パイプ中間部のサブ、サイレンサー上部のステーを純正ボルト、ワッシャーと、付属のフランジナット10を使用し、車体へ仮組みします。

- ③ 同時に後端部のサイレンサーのステーは、タンデムステップの内側（タイヤ側の面）に配置して仮組みします。

- ④ フロントパイプとテールパイプを付属のマフラーズプリングで固定します。

- ⑤ O<sub>2</sub>センサーを取り付けます。

- ⑥ ボルト、ナット類の本締めをします。

※以下の順序で本締めしていきます。

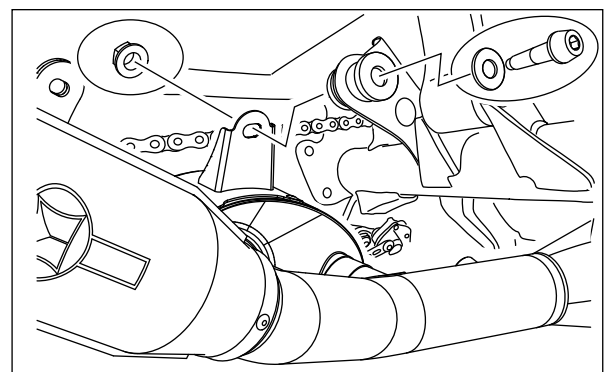
- ・フロントパイプ:フランジキャップナット, 8MM
- ・中間部サブサイレンサーステー:ボルト 10MM
- ・後端サイレンサー:フランジボルト 8MM
- ・O<sub>2</sub> センサー

M8 締め付けトルク( 20[N・m] / 2.0[kgf・m])

M10 締め付けトルク( 34[N・m] / 3.5[kgf・m])

M8 締め付けトルク( 25[N・m] / 2.5[kgf・m])

締め付けトルク( 45[N・m] / 4.6[kgf・m])



## 【取り付け仕上げ】

- ① 各ボルト、ナット類の締め忘れは無いかなど再確認し、エンジン始動前にマフラー全体を脱脂してください。マフラー表面の焼け色にムラができる恐れがあります。
- ② エンジンを始動します。
- ③ エンジンを始動後、各部の排気漏れが無い事を確認します。



エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締付けを緩め、エンジンポートに的確になじむように締付けなおします。



エンジン始動後 15 分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

## 【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態にて性能が発揮されるように設計されています。

マフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。

マフラー交換に伴う性能悪化が見られる様であれば、エアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

## 【JMCA について】

全国二輪車用品連合会(JMCA)は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導もと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA 認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

**車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参して下さい。**

## 【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。

走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

### 株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

Home Page <http://www.moriwaki.co.jp>